

きそがわ福祉社会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして

2022年8月20日発行 No.121



玉の井ホーム 休日の“カステラづくり”



北方ホーム 家庭菜園“きゅうり採れたよ”

ホーム4事業所の “夏のひととき”



なごやかホーム “スイカ割り”



ぬくもりホーム (写っていませんか…)かき氷後の笑顔

発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曽川町内割田一の通り12番地3
電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937



障害者総合支援法（改正後）3年後の見直し



～どうなる？今後の公的福祉制度の行方～

- 総合支援法の改正後3年を目途とする見直しの検討が行われ、この6月に最終報告が取りまとめられました。
- 今後改正法案が国会へ提出され、令和6年度の報酬改定とあわせて制度の見直しが実施される見込みです。
- 最終報告やこれまでの議論の内容から、きそがわ福祉社会の事業に関連の深い内容を今回ピックアップします。

グループホームの今後の見直しの方向性

①重度障害者の受入体制を強化…次期報酬改定で対応

②希望する方には安心して住み続けられる現制度を堅持

- 現行のGHの基本的な仕組みは維持
- ヘルパー特例利用についての恒久化の検討？
- 日中サービス支援型のあり方の見直しを検討？

③希望者に対する「1人暮らし等への移行支援」をGHの支援内容に追加・「新類型ホームの創設」

現行GHに加えて、「新たな類型を創設」し一人暮らし等の希望実現に向けた支援を行う

新類型ホームについては、「通過型」で「利用期限」の設定があり利用者の追い出しつながらないか？という心配の声や、現行のGHの仕組みを充実させるべきという声があります。

就労分野の新サービス“

就労選択支援（仮称）の創設

就労を希望する障害者の専門的なアセスメントを行い就労・障害福祉サービスの選択に係る支援を行う新サービスの創設

●地域生活支援拠点の整備・拡充

●高齢障害者の支援（一律に介護保険を優先しない運用の事例を示した周知徹底、共生型の活用）

●相談支援のあり方、充実強化

●精神障害者の支援（医療保護入院のあり方の見直しなど含む）

など13項目の見直しの方向性が示されています

国が重点をおいている内容や制度等を最大限活用していく準備を行うとともに、現場の実践をふまえた制度の問題点や課題を改善していく運動を今後も大事にしていきたいと思います。

中核市移行後に補助事業等が減額や廃止になった内容

①施設整備補助金（県と市をあわせた補助負担割合）が減額
②社会福祉整備の借入金償還金に対する県の補助金が中核市移行後は0円に
③民間社会福祉施設運営補助金（民調補助金）が段階的に減額・廃止へ
④グループホーム建設補助金（一宮市単独補助事業）の廃止
⑤日中活動事業所利用者の方の通所交通費補助が今年10月で廃止

今年度創設された市単独補助事業

「重度障害者受け入れ補助事業」

関連する一宮市の地域課題について

昨年3月の一宮市議会本会議において、市内3法人が共同で取り組んだ「一宮市の福祉の拡充を求める請願」が全会一致で可決されました。その後の一宮市の状況や今後の課題などを今回とりあげます。

●支給決定基準の運用のあり方

市が定めた支給決定基準に対し、真にサービスが必要な方が余儀なく不本意な生活とならないよう、必要な日数や時間数が保障されるよう当局の柔軟な対応が必要であると考えます。

●相談支援事業の一層の充実強化

国が今回示した障害者総合支援法3年後の見直しに関する「社会保険審議会障害者部会報告書」にも、相談支援事業の一層の充実強化が示されています。そうした中で、一宮市障害者自立支援協議会の諸活動の一層の充実と共に相談支援支援事業の充実強化が必要であると考えます。

●地域生活支援拠点の拡充

右記の相談支援事業の充実と共に、家族等の緊急時に利用できる場所の確保が切実な課題の一つです。現在の一宮市の体制を拡充し、地域の事業所が協力して緊急時の受け入れができるような体制を目指して、他の地域生活支援拠点機能を備えた拠点整備について、行政責任においての推進と共に、一宮市障害者自立支援協議会での協議内容も踏まえて、推進していく必要があると考えます。

アマゾンチーム

園芸の取り組み活動中



おおきくなれ

やくみねぎ、たく
さん採れたよー

きそがわ作業所の生活介護のグループ活動「アマゾンチーム」では、昨年度からコロナ禍で出かけることができなくなつたので、作業所の敷地内で行える取り組みを考えた結果、園芸をグループ活動で取り組むことにしました。初めはチューリップやといわいし、枝豆を育てました。みんなで水やりを行つても育てることができました。園芸活動にもだんだん慣れてきて、今では大葉、ネギ、さつまいも、バナナ、パインアップル、トマト、ブルーベリーなど沢山育てています。収穫したものには、調理実習に使つたり、フロアの取り組みの流しそうめんの薬味として使いました。秋にはさつまいもが収穫出来る予定なので焼き芋が楽しみです。またバナナは来年上手く実つてくれれるよう毎日水やりを行ないながらみなさん楽しみにしています。

コーヒーの豆にはこだわりません
～時代は喫茶店から、おしゃれCafe～

ITO BUCKSへ
ようこそ！

毎年ほのぼのまつりで大人気の『喫茶ひまわり』。コロナ禍でもつらが開かれない中、少しども雰囲気を味わおう!と6月4日(土)におしゃれカフェの取り組みをしました。その店名は『ITO BUCKS』店内にはオシャレなjazz曲が流れ、屋外には地中海さらながらのテラス席も設けられました。店内には、まつりを盛り上げてくれた仲間たちの素敵な笑顔が巨大スクリーンにスライドショーとして映し出されていました。

そして…やじじで働くクルー(店員)は、某コーヒーショップの素敵なお兄さん・お姉さんに負けないぐらいの、『最高の笑顔』でお客様のおもてなしをしてくれました。

次回のオープンは来年6月頃を予定しております。新型コロナウイルスが終息し、皆様にI來店していただけるよう、『ITO BUCKS』一同心よりお待ちしております。是非、来店下さい。

毎年ほのぼのまつり恒例の「電車の取り組み」を6月に行いました。コロナ禍の為に3年ぶりの開催となりましたが、感染対策をしっかりと行つ中で実施しました。

名鉄玉ノ井駅～名鉄一宮駅の間の分程の電車旅でしたが、電車にゆられ、車窓からの景色を眺め、皆さんはとても楽しそうにしていました。食事は一宮庄舎のレストランで密にならない席を用意していただき、人々の外食を楽しめました。美味しいとて、景色も良くて体を揺らし、大笑いしていました。

初めて電車の取り組みに参加する仲間についてとても素敵な経験になったのではないかと感じます。また行きたいですね。

どんな景色が
見えるかな?

一宮駅で記念撮影！

ゆうゆう恒例の「電車の取り組み」を6月に行いました。コロナ禍の為に3年ぶりの開催となりましたが、感染対策をしっかりと行つ中で実施しました。

ハッピーサン畑

ウキウキ

春の運動会と遠足

ハッピーサン

ウキウキグループでは5月27日（金）に運動会チームと遠足チームに分かれ春の取り組みを行いました。

運動会は赤チームと青チームで対決し、各チームリーダーによる選手宣誓から始まり大玉転がし、玉入れ、最後は白熱のお菓子取り競争を行いました。優勝は赤チームでしたが、青チームも最後まで諦めずに頑張りました。応援したり、素晴らしいチームプレーを発揮したりと、一体感が生まれ、より仲間達の絆が深まつたような感じがしました。

遠足では車で大野極楽寺公園に行きました。新型コロナウイルスの影響で普段外出を自粛している仲間も美しい青空と自然の中お散歩をして、めいっぱい羽を伸ばすことができました。休憩でジュースを飲み、お菓子を食べてとても笑顔に溢れました遠足となりました。

どっちが勝つかな？



おいしい



あともう少し！



がんばるぞー



ドリームライナー

運動会！

6月中旬、ドリームライナーでは木曽川緑地公園にて運動会を開催いたしました。

当日は晴天に恵まれ、かつ心地よい風も吹いている絶好の運動会日和。

浮き輪転がしリレー・大玉運び・玉入れの3つの競技を仲間・職員協力しながら、楽しみました。どの競技も接戦で大盛り上がり！手に汗握る展開でした。

たくさん動いた後は、作業所に戻ってアイスを食べてお疲れ様会♪

みんなのニコニコ笑顔をたくさん引き出すことができ、職員も充実のイベントになりました。

－北方あすなろ作業所－

半年ぶりのおでかけはレゴランド！！

新型コロナウイルスも少し落ち着いてきたところで、去年の11月以来となる1日の取り組みで5月19日(木)に名古屋市港区のレゴランドへ行ってきました。

ジェットコースターも「高くまで上がるのが怖かった」「ブロックで作った工作もかわいかった」と皆さんからの声が上がっていました。

帰ってきてから数日間は、レゴランドの話題で持ちきりでした。



レゴランドのキャラクターと



大法寺、ご本尊の前で住職と

－なないろ作業所－ **2周年**

7月16日、“なないろの日”に、「なないろ作業所二周年」のお祝いをしました。

事前に飾りつけ等の準備を進めてきましたが、仲間一同“待ちきれないね”と楽しみにしてきました。

当日は、仲間各自が“この1年間でできるようになったこと”を発表！みんなの成長を実感できました。

その後は、“1年間の想い出”をスライドショーで鑑賞し、「あんなこともあったね～」と楽しみました。

最後に、“くす玉”を割り、大盛り上がりの1日でした。

「また来年、3周年に向けて頑張ろうね」と、元気にあいさつしました。



くす玉、大成功！



6月の全体活動!!



6月、黒田ドリーム作業所は江南市にある音楽寺、通称『あじさい寺』に行きました。音楽寺の境内では紫陽花が咲き誇り、その数は十五種類一千一百本。梅雨の合間でしたが、天気にも恵まれました。

現地では、各生活グループに分かれて紫陽花と一緒に記念撮影。ティクアットの取り組みも兼ねて購入したジュースや、お茶や、コーヒーで乾杯。おやつを食べながら、お出掛け日和を満喫することができました。

その他にも、プリンチーム、お団子チームに分かれてゲームをしました。プリンとお団子のどちらが食べたいかを選び、チームに分かれて対戦しました。様々な物を叩き、『何の音のかかるゲーム』と『伝言ゲーム』を組み合わせたルールです。

勝利チームのおやつを皆さんと一緒に食べます。勿論、ゲームにも気合いがります。

ふたばドリーム作業所では授産活動として毎月ドリームセンター内の公用車13台の洗車作業を行っています。洗車作業と聞くと仲間から『えーーー!』との声が一部から聞こえる所をみると、色々とある作業でも若干不人気のかもしません。ですが、ひとたび外にでると「車に水をかけようか?」・「タイヤをやります!」・「掃除機をやつたい!」・「僕はマットをやる!」と、やる気満々の声が聞こえてきます。暑さ・寒さの季節の環境変化はありますが出ると気持ちが良く、車が綺麗になる達成感や、体を動かせる良いお仕事だと感じています。

作業では、車体と窓を拭くタオルの素材を変えて分かりやすくしたり、手が濡れることが苦手な人の為にスポンジの他にブラシを用意したりしています。車体の上は脚立に登ると危険なので、ながらいタオルを使って両側から代わるがわる引っ張り合って綺麗にするなど工夫をしています。「やったー洗車だー」と言ってもらえた日が来るかどうかは分かりませんが、これからも皆で取り組んでいきたいです。

洗車作業しています!

午前中のダンス風景

第2回

ほのわかまつり開催



わかばドリーム作業所では、6月30日（木）に、2回目となる「ほのわかまつり」を開催しました。

今回は木曽川庁舎の講堂をお借りして、コロナ感染対策としてソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底を行いながら、午前はプロジェクターを使用してみんなで一緒に踊ったり、お菓子販売を行ったりしました。午後からは、各班のステージ発表会!! 緊張している仲間もいましたが、ダンスやマジックショーなど練習の成果を発揮し、みんなで盛り上がることができました。

ええじゃないか～♪ええじゃないか～

かえるのみどりちゃん演奏♪
職員も仮装してやる気マンマン!!

マツケンサンバー♪ オレッ!!



マジックショーを披露してくれました。



お菓子販売の様子



4月から通所し始めた仲間の初舞台!!
上手に発表してくれました。

なごやかホーム ”還暦を迎えた仲間のお祝い“



★祝★ 滝川さん、還暦おめでとうございます!!

6月、なごやかホームでは、還暦を迎えた仲間のお祝いをしました。
主役は滝川さん。職員はみな、このお祝いの日に仲間と共に立ち会えたことで感慨深い思いになりました。

赤いちゃんちゃんこを着た滝川さん。少し恥ずかしそうではありましたが、とっても笑顔で「機嫌な様子。心なしかいつもより笑顔も多くみられました。

いよいよパーティーが始まり、職員お手製のお寿司と「デザート」でまずはみんなで乾杯!会食中、滝川さんに向けてなごやかホームの仲間がお祝いのお手紙を読んでくれました。

一生懸命お祝いのメッセージを読んでくれた光崎さん。

読んでいる光崎さんも滝川さんも少し照れている様子もあつたかな?

60歳の新しい門出をみんなに囲まれ記念に残る一日を過しました。

6月、なごやかホームでは、還暦を迎えた仲間のお祝いをしました。
主役は滝川さん。職員はみな、このお祝いの日に仲間と共に立ち会えたことで感慨深い思いになりました。

赤いちゃんちゃんこを着た滝川さん。少し恥ずかしそうではありましたが、とっても笑顔で「機嫌な様子。心なしかいつもより笑顔も多くみられました。

いよいよパーティーが始まり、職員お手製のお寿司と「デザート」でまずはみんなで乾杯!会食中、滝川さんに向けてなごやかホームの仲間がお祝いのお手紙を読んでくれました。

アクア・トトへ外出

6月コロナが少し落ち着き、休日に久しぶりに外出の取組みでアクア・トト遊びへ。午前と午後2つのグループに分かれて外出しました。

午前の女性グループは屋外でランチを楽しみ、久しぶりにホームの皆さんと外出できて普段見られないとても良い表情をされていました。

たくさん
おかわり
しました~



たこ焼きづくり

7月の休日は、お風呂はんこ、たこ焼きづくり。粉をまぜて、たこ焼きをクルクル回し、作る過程もワイワイと楽しく、自分で作ったたこ焼きの味は格別でした。

モモづりがたくさん採れたよ



午後の男性グループは大雨になり:水族館のみの見学でしたが外出が良い気分転換になりました。

大雨の中での…バーベキュー

通常の食材の発注を止めて、バーベキューを予定していましたが、あいにくの大霖。ですが:雨にも負けずテントで屋根を張り、

玄関外で楽しみました!!



北方ホーム 休日の暮らしのひとコマ

”休日の暮らしのひとコマ“



ところどころ？もちもち？ 感触遊び

まーぶるの森では、身体全体を使う粗大運動、手や指を細かく使う微細運動など、様々な感覚に働きかけるプログラムを取り入れています。

5月は感触を楽しむ「スライム遊び」をしました。エンジエルクレイという粘土に水を入れてトロトロにし、そこに重曹水を加えるとスライムのようにもちもちになります。はじめは、手にまとわりつく感覚が「嫌」と顔をしかめる子も多かったですが、だんだんと固まりまとまるてくると、「見て見て！」と自分の身長よりも高く伸びたスライムを満面の笑みで職員に見せてくれました。

ぬるぬるが気持ち悪い、もちもちが気持ちいいなど、とにかくそれを楽しむことが大切です。感触遊びは、様々な素材に触れて感触を確かめることで、指先の感覚を育んだり、「どんな感触なんだろう？」「触るとどうなるんだろう？」と想像力や思考力を高める事に繋がります。

使ったスライムは持ち帰りましたが、家でも硬くなるまで遊んでいましたと、嬉しいお声もいただきました。



▲不思議な感触を楽しみました！

児童発達支援センター
まーぶるの森

各部門の名称を検討しました。(来年4月～)

- ◆児童発達支援センター(スポット部門)→りーふ
- ◆児童発達支援センター(毎日通園部門)→ばーむ
- ◆放課後等デイサービス部門→すだち

翌週に、乾かしたそれぞれの作品を使って、夏休みカードを作成しました。タイトルと名前を書いたり、色を塗ったりし、夏休みに来る日付の紙を貼りました。糊のべたつきが気になる子があるので、両面テープを使用したりしました。同じ夏休みカードを作りましたが、一つ一つに作った子どもたちの個性がキラリと輝いています☆

児童発達支援センター増築増員施設整備補助金
(国・愛知県)の内示が下りました(6月22日付)

従来の児童発達支援センターまーぶるの森(定員10)は、多くの方々との契約によりお一人あたりは週1～2回利用のスポット部門として取り組んでいます。今回の増員事業では、新たに毎日通園部門としての増築増員事業を準備しています。引き続き、ご支援の程賜りますよう宜しくお願い致します。

夏に向けた取り組み

放ディでは、6月中旬から夏休みに向けての取り組みを開始しました。夏休みの話をすると、「早過ぎる！」と言う子がいましたが、カレンダーを見せ数えてもらつと、「もう一か月を切っているのか…」としみじみ。子どもたちは、夏休みを楽しみにしているようです♪

◆ プールで遊ぶおもちゃを決めよう！

事前に撮った水鉄砲などの写真を一覧にして印刷し、その中から子どもたちに2つ、遊びたいおもちゃを選んでもらいました。見た目のカッコよさで選び子、「アイスガンって普通のやつと何が違うの？」と遊び方で決める子、神様の言う通りにした子、選び方も様々でした。

◆ マーブリングをしよう！ & 夏休みカードを作ろう！

昨年行った取り組みを今年もやってみました。マーブリングとは、水を

弾く水溶液の水面に絵の具を垂らし、広

がつたり混じり合つたりしてできた模

様を紙に写し取る技法です。子どもたち

は好きな色を2つ選びましたが、絵の

具が混ざると3色目が！「この色選ん

でないよ？」と不思議そうな顔をする子

もあり、絵の具の混ぜ合わせの勉強にも

なりました。



▲ストローを使って、
模様を描いています。



放課後等
デイサービス
まーぶるの森

法人本部多目的室にて



研修第Ⅰ部では、拠点別研修と障害特性研修で、往還南拠点事業所の内の、北方あすなろ作業所となごやかホームの運営状況を学び、まぶるの森については、今年度に進めている増築増員事業が法人事業の重点課題であることについての周知もありました。続けて、発達障害の二次障害（精神障害、愛着障害、性問題）を取り上げたケース報告を基にグループ別に交流も行われました。法人内の実践についての交流は、日々の支援に活かせる大切な研修となりました。

研修第Ⅱ部では、メンタルヘルス研修を行いました。自分の健康管理とストレスマネジメントの大切さを学びました。ストレスチェックを行い、自身の心と身体を見つめる良い機会となりました。コロナ禍での職員研修でしたが、回数を重ねる度に、職員のオンライン操作の技も上達しています。

今年度、第2回目となる法人職員研修（オンライン）が7月30日に行われ、約70名が各地から参加しました。今回も、たけのこ福祉会の方、給食業者の魚国のスタッフの方も参加していただきました。

ご寄付お礼

令和4年4月16日～7月15日（順不同）

きそがわ作業所保護者会様
野村まさ江様
ユニー株式会社様
この他にも、お茶菓子等をいただきました。
誠にありがとうございました。



いつもきそがわ福祉会をご支援いただきありがとうございます。

令和3年度のきそがわ福祉会事業報告及び決算報告書は、法人内各事業所及び当法人ホームページで閲覧できます。

きそがわ福祉社会の障害福祉サービス等の事業所(各地域拠点ごと)

〈木曽川町外割田の事業所〉

- ★きそがわ作業所<生活介護・就労継続支援B型>
- ★ゆうゆう<生活介護・児童発達支援>
TEL 0586(86)3763 FAX 0586(87)7194
- ★相談支援センター夢うさぎ
<計画相談・地域移行・地域定着・一宮市からの委託>
TEL 0586(86)4003 FAX 0586(87)7195

〈木曽川町内割田の事業所〉

- ★黒田ドリーム作業所<生活介護>
TEL 0586(86)3111 FAX 0586(86)1161
- ★ふたばドリーム作業所<就労継続支援B型・日中一時支援>
TEL 0586(64)7378 FAX 0586(64)7231
- ★わかばドリーム作業所<生活介護・就労継続支援B型>
TEL 0586(64)6450 FAX 0586(64)6475

〈木曽川町玉ノ井の事業所〉

- ★第二きそがわ作業所<生活介護>
TEL 0586(84)1102 FAX 0586(84)1080
- ★フランダーランド<居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援・福祉有償運送>
- ★玉の井ホーム<グループホーム・短期入所>
(玉の井第一ホーム・玉の井第二ホーム・玉の井第三ホーム)
TEL 0586(86)7541 FAX 0586(86)7514

〈北方町中島往還南の事業所〉

- ★北方あすなろ作業所<生活介護・就労継続支援B型>
TEL 0586(85)7152 FAX 0586(85)7153
- ★なないろ作業所<生活介護>
TEL 0586(86)6781 FAX 0586(86)6782
- ★ショートステイなないろ<短期入所・日中一時支援>
TEL 0586(86)6717 FAX 0586(86)6631
- ★児童発達支援センターまーぶるの森
<児童発達支援センター・保育所等訪問支援・放課後等デイサービス>
TEL 0586(86)6820 FAX 0586(86)6821
- ★相談支援センターつながり<計画相談・障害児相談支援・委託相談>
(相談支援センター夢うさぎの従たる事業所)
TEL 0586(86)6665 FAX 0586(86)6821
- ★なごやかホーム<グループホーム>
TEL 0586(86)7237 FAX 0586(87)5266

〈北方町北方の事業所〉

- ★北方ホーム<グループホーム・短期入所>
第二北方ホーム TEL・FAX 0586(87)2773
第三北方ホーム TEL・FAX 0586(86)1716
第五北方ホーム TEL・FAX 0586(86)0038
- ★ぬくもりホーム<グループホーム・短期入所>
勅使ホーム TEL・FAX 0586(87)5871
わだちホーム・しづくホーム
TEL 0586(86)7127 FAX 0586(87)5871